

日本肺癌学会中部支部会員の皆様へ

第 121 回 日本肺癌学会中部支部学術集会開催のお知らせ

(2022 年 7 月 13 日)

2022 年 9 月 10 日(土)に開催予定の本学術集会は、現在参加登録を頂いている最中です。8 月 12 日(金)までに必ず、下記より参加申し込みを行ってください。

<http://www.ccs-net.co.jp/society/jlcs.html>

現在、演題発表予定の方でも未登録の方がおられます。参加申し込みと参加費(1000 円)支払いを終了して頂きますと、当日の現地参加または web 参加のいずれでも可能になります。未登録状態での当日の参加は、現地参加のみとなります。

ふるってのご参加をお待ち申し上げます。

聴講する為のご案内は参加費支払い手続き時に記載して頂いたご自身のメールアドレス宛に配信いたします。ご案内が届かない場合は第 121 回 日本肺癌学会中

部支部学術集会専用ページ (<http://www.ccs-net.co.jp/society/jlcs.html>) のお問い

合せフォームをご活用ください。

(<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1649645642docqkqzm>)

詳細は下記サイトをご覧ください。

<http://www.ccs-net.co.jp/society/jlcs.html>

第 121 回日本肺癌学会中部支部学術集会会長
伊藤以知郎 (長野赤十字病院病理部)

概要とプログラム

日時:2022年9月10日(土) AM 10:00-PM 17:00

開催形式:現地+Web 配信によるハイブリッド開催

(但し、コロナ感染症の状況によりオンラインのみになった場合、評議員会を Web で AM9:00 から行いますので、終了時刻が 30 分早まる予定です。)

現地会場: 松本市 M ウイング (松本市中央公民館)

〒390-0811 長野県松本市中央1丁目18-1

電話: 0263-32-1132

第 121 回日本肺癌学会中部支部学術集会 プログラム

Program of the Meeting of Chubu Branch, The Japan Lung Cancer Society

プログラム

*Hybrid 開催の場合:評議員会は AM11:35-12:05, M ウイング 3 階会議室で開催し、

下記(hh:mm-hh:mm)に記載したタイムスケジュールに従います。

*On line のみで開催の場合:評議員会は AM 9:00 より Zoom にて開催し、その後は下記 [hh:mm-hh:mm] に記載したタイムスケジュールに従います。

学術集会プログラム (会場:松本市 M ウイング 6 階 ホール)

開会の辞 (9:55)

I. 診断、組織型 (10:00-10:24)[on line 開催時と同じ]

座長 伊藤以知郎(長野赤十字病院 病理部)

1. 肺乳頭腺腫の 1 切除例

長野赤十字病院 呼吸器外科: 梅田 将斗 他

2. 針生検で胸腺腫の診断であったが外科的生検で悪性リンパ腫と正診された 1 例

名古屋大学 呼吸器外科: 岡戸 翔嗣 他

3. 同一腫瘍内に上皮内癌と細気管支腺腫の混在を認めた一例

聖隷三方原病院 呼吸器センター外科: 内山 粹葉 他

II. 染色体転座/遺伝子変異癌 (10:24-10:56) [on line 開催時と同じ]

座長 神田慎太郎(信州大学医学部 血液・腫瘍内科)

4. ALK 陽性肺紡錘細胞癌の1例

信州大学医学部 内科学第一教室: 鈴木 祐介 他

5. ALK 融合遺伝子陽性の肺扁平上皮癌の一例

愛知医科大学 呼吸器・アレルギー内科: 荻須 智之 他

6. ZCCHC8 をパートナー遺伝子とする ROS1 遺伝子転座陽性肺腺癌の1例

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科: 森田芽生子 他

7. 単一遺伝子検査で検出されず遺伝子パネル検査で判明した HLA-A-ROS1 融合遺伝子陽性肺腺癌の1例

JA 愛知厚生連海南病院 呼吸器内科: 木下 亮輔 他

(休憩 4分)

共催セミナー 1 (共催: ノバルティスファーマ株式会社) (11:00-11:30) [11:00-11:30]

座長: 藤原 豊 先生 (愛知県がんセンター 呼吸器内科)

演者: 村上晴泰 先生 (静岡がんセンター 呼吸器内科)

演題: 「進行・再発非小細胞肺癌に対する薬物療法

～希少な遺伝子変異/転座例に対する治療を中心に～」

=== (休憩 11:30-12:15、**評議員会** 11:35-12:05, 3F 会議室) [休憩 11:30-11:40] ===

ランチョンセミナー (共催: 中外製薬株式会社) (12:15-13:15) [11:40-12:40]

座長 倉石 博 先生 (長野赤十字病院 呼吸器内科)

講師: 西原 広史 先生

(慶應義塾大学医学部 臨床研究推進センター 腫瘍センターゲノム医療ユニット)

演題: 「肺癌診療におけるがんゲノム検査の有用性と今後の展開」

(休憩 13:15-13:20) [12:40-12:45]

総会 (議長：澤 祥幸 支部長 (岐阜市民病院 がん診療局))

(13:20-13:30) [12:45-12:55]

特別講演 (13:30-14:30)[13:00-14:00]

座長 小林 宣隆 先生 (長野赤十字病院 呼吸器外科)

講師： 清水 公裕 先生 (信州大学呼吸器外科)

演題：「進行肺癌に対する外科治療の進歩 ―サルベージ手術を中心に―」

(休憩 10分 14:30-14:40) [14:00-14:10]

III. 染色体転座/遺伝子変異癌・ICI療法 (14:40-15:12) [14:10-14:42]

座長 鈴木進子 (諏訪中央病院 呼吸器内科)

8. 肺原発多形癌術後再発にペムブロリズマブ併用化学療法が奏効した一例
名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 呼吸器外科: 中埜 友晴 他
9. 小細胞癌への形質転換をきたした ALK 融合遺伝子陽性肺腺癌の 1 例
聖隷浜松病院 呼吸器内科: 荒野 貴大 他
10. 当院における ERBB2 遺伝子変異の後ろ向き検討
松阪市民病院 呼吸器センター 呼吸器内科: 伊藤健太郎 他
11. オシメルチニブが著効し多発脳転移に対する放射線治療を回避できた肺癌術後再発の一例
日赤愛知医療センター名古屋第一病院 呼吸器外科: 川角 佑太 他

共催セミナー 2 (共催：日本イーライリリー株式会社) (15:15-15:45) [14:45-15:15]

座長： 両角 延聡 先生 (佐久医療センター 呼吸器内科)

演者： 渡辺 恭孝 先生 (埼玉県立がんセンター 呼吸器内科)

演題：「 決定待ち 」

IV. 外科 (15:50-16:22) [15:20-15:52]

座長 濱中 一敏 (信州大学呼吸器外科)

12. IVb 期 NSCLC に対して Pembrolizumab を含む治療後にサルベージ手術を行った 1 例

愛知医科大学 呼吸器科外科: 岡本紗和子 他

13. SBRT 後再発肺癌に対しロボット支援下サルベージ中葉切除を施行した 1 例

信州大学 呼吸器外科: 小口 祐一 他

14. 右上葉肺癌術後多発転移に対して長期の化学免疫療法・EGFR-TKI 治療後にサルベージ中葉切除を施行した 1 例

信州大学 呼吸器外科: 志村 昌俊 他

15. 巨大な縦隔甲状腺腫の 2 手術例

静岡県立静岡がんセンター 呼吸器外科: 増田 達也 他

V. 化学療法 (16:22-16:54) [15:52-16:24]

座長 蜂谷 勤 (諏訪赤十字病院 呼吸器内科)

16. 悪性類上皮血管内皮腫の 1 例

日本赤十字社長野赤十字病院 呼吸器内科: 佐藤 公洋 他

17. 肺扁平上皮癌に対して Pembrolizumab による化学療法中に寒冷凝集素症を発症した 1 例

名古屋記念病院 呼吸器内科: 田中 達也 他

18. 肺がん術後化学療法中に発生した非閉塞性腸間膜虚血症の 1 例

藤田医科大学 呼吸器内科: 長谷川 新 他

19. 3 次化学療法まで行って残存腫瘍切除をなし得た兄妹発症の縦隔胚細胞腫瘍の 1 例

信州大学医学部 血液・腫瘍内科: 神田慎太郎 他

閉会の辞 (16:55-17:00)[16:25-16:30]